



国鉄新潟

NO. 605
発行
07・6月20日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教宣部

七年目で三〇〇名組織

特集 青年労働者の おかれてしている状況は

首都圏青年ユニオン

伊藤和巳委員長

青年ユニオンは二〇〇〇年に発足し七年目、三〇名でスタート。格差の問題が大きい。青年の雇用の格差、あえていえる。



年収二七〇万円以下 ワーキングプア

ワーキングプアの若者がメーデーに参加、取り組む。ワーキングプア年収一七〇万円以下の青年労働者。青年ユニオンは、楽しく取り組みを進める。それで権利が主張できれば、そして、要求が通れば良いと考える。きつと闘えば変わっていく。

ワーキングプア全体の18%



ワーキングプアは六百五十六万五万世帯、勤労国民の全体の十八%。ネットカフェ難民の仕事は日払い、ハンパーガーシヨップ難民増加、家が無い、三分二が常連客になっている。

ネットカフェ難民

2年間のネットカフェ難民の人もいる。普通に帰れるのか~希望して生活しているわけではない。一度、はまってしまうと抜け出せない。厚労省がやっと調査。ホームレスと状況は同様なのでは、しかしホームレスには、なりたくない。ホームレスは増加している。

青年労働者は、この格差が大きくなる。労働組合へ参加、それには多くの理解者・支援者が必要。

貧困を取り組まない政治家は政治家ではない。

反貧困



電話の相談 労基法違反九割

労働相談があり、相談だけで解決する問題もあるが、団体交渉で解決させる。これによって組織が二〇〇名に

青年ユニオンは発足して七年目、現在三〇〇名の組織になっている。東京公務公共一般労組の東京一般支部（サークル的な感じで三〇名で発足した。そこから拡大へ）支援団体として『とさえる会』が発足し二名の専従役員体制になっている。青年労働者 若者の生き方 運動に先頭を立てるユニオンをつくる。

六名が解雇

解雇の相談が六名（すきやのバイト）が解雇された。団交を実施した。他に超勤の不払い保険関係の問題など多い。

解雇の理由は「茶髪を指摘された。しかし、茶髪のまま一年間働いている。新しい店長が来て解雇を通告された。

しかし、時給が上がっていること。一年間働いて一回も指摘されていない店長が変わって解雇を通告された。



自ら団交を ユニオン加入へ



青年ユニオンに加入し労働組合運動に参加する。自ら団体交渉を実施する。要求書についても、自分で作成し、要求書を会社側へFAXを送る。自分自身でFAXを送信させる。

青年ユニオンは、要求書の作成や団体交渉について、全てサポートする。自分自身が解決していくことが重要だ。



全労連メーデーに 3300人参加

首都圏青年ユニオン

今年のメーデーに、人間らしく暮らせる権利をと3300人が参加し訴えた。

原宿・新宿デモを実施、若者の集まる場所で訴えた。過去、3～4年前は若者に反応がなかったが、今年は、それに対して多くの若者が興味を示し、激励があった。

切実な要求など実態を明らかにし訴え、それに対して、大きな反響があった。現在の若者の状況は、はじける寸前の風船のようだ。この問題を何とかしていかななくてはと思う。

多くの労働者、労働組合へこの問題を訴え青年だけの問題ではなくみんなの問題。

人間らしく暮らせる権利、反貧困～青年だけの運動におさまらず、大人たちの問題と含めて取り組んでいく。



企業は、増収益を第一に考え労基法が守られていない年休が取れない、年休を取ると職場が欠員になり別な人間を配置しなければならぬ賃金を、よけいに支払うことになる。

早期解決 ではない

青年が問題をかかえて、青年ユニオンへの相談が多くなって組織化が進んだ。加入するが脱退が無い、青年が何をしたいのか相談する。

青年ユニオンは早期解決屋ではない

電話相談で青年をサポートし、具体的要求へ進んでいく。それから、直接話をする。
本人が解決していくために団体交渉をする。青年ユニオンの加入・要求書も本人が作成することによって組合員としての自覚を実感させる。



情報の共有化

全国大会 東日本大会 代議員選挙



告示
6月23日
投票日 7月4日

第75回定期全国大会
8月2日～3日
伊東
第21回東日本定期大会
8月31日～9月1日
湯河原

メッセージの交換、組合員としての自覚を高める。全組合員との情報の共有化。全組合員へ、取り組み宣伝（フレカード作成）や団交のお知らせ（参加の要請）をする。

多くの青年が、かかえている問題について、解決した青年など団交に参加し支援していく。

いろいろな問題に対して感想が全員に伝えられる。加入は、ひとりだが全員でひとつの問題を共有し全員がささえ、解決していく。ひとりひとりの力が大きな力になっている。

知ること、知らせること全員が共有する。一体感がある。

運動体の一員としてみんなで変えていく。一緒にがんばっていく。青年らしい運動、集いやすい内容、楽しい活動していく。

青年ユニオンは、社会を変える、政治の流れを変える。そのため、現在、専従役員（1名から4名）を増やす。
「ささえる会」への加入、支援を、年会費（1万円）。

編集後記

ここまで読んでいただいてありがとうございます。いかがだったでしょうか？今回は首都圏青年ユニオンの活動内容や今、青年のおかれている実態を特集しました。

素晴らしい活動だと感じています。両面にわたる特集は初めての試みでしたが、組合員のみならずから情報、記事をお待ちしています。

国鉄新潟編集委員会